

相続税から控除できる税額控除の

基礎知識 その①

～相続税の配偶者控除の仕組み～

相続税の配偶者控除とは

被相続人の配偶者が相続した遺産額が

① 1億6,000万円以下

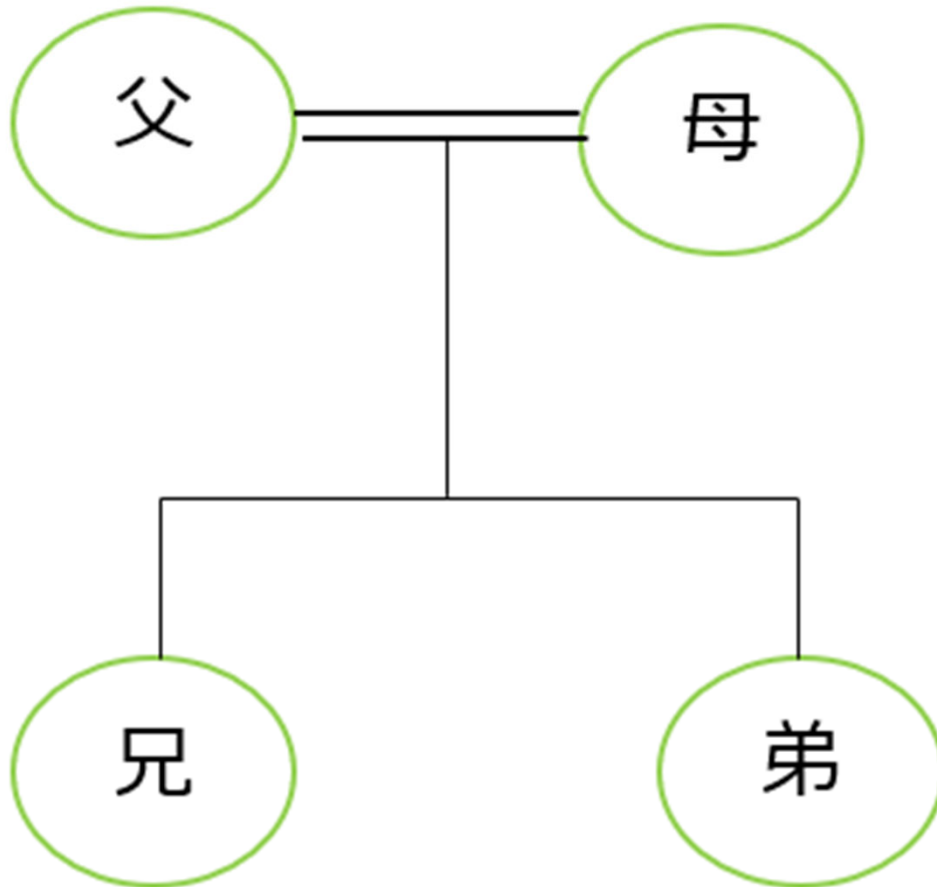
② 配偶者の法定相続分相当額以下

であれば相続税が課税されない制度です。

相続税の配偶者控除とは

相続財産が2億円

→相続税2,700万円

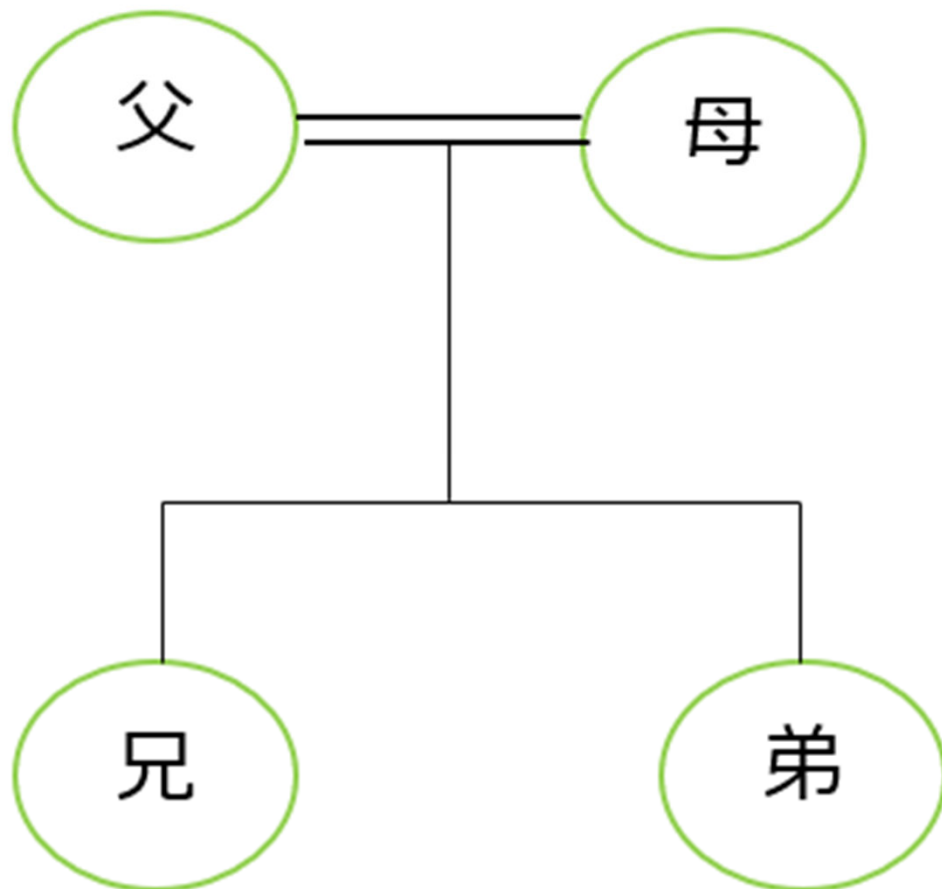


相続人	相続分	財産額	相続税
母	1 / 2	1億円	1,350万円
兄	1 / 4	5,000万円	675万円
弟	1 / 4	5,000万円	675万円

相続税の配偶者控除～法定相続分まで適用～

相続財産が2億円

→相続税2,700万円

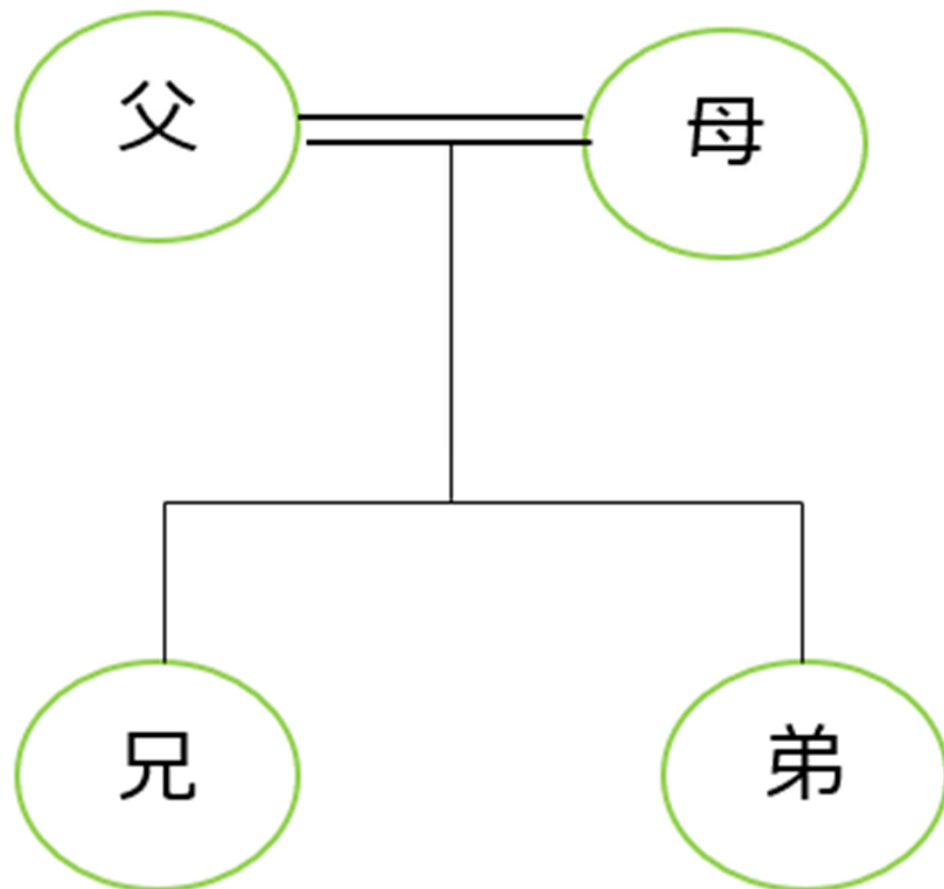


相続人	相続分	財産額	相続税
母	1 / 2	1億円	1,350万円
兄	1 / 4	5,000万円	675万円
弟	1 / 4	5,000万円	675万円

相続税の配偶者控除～遺産額1億6,000万円まで適用～

相続財産が2億円

→相続税2,700万円



相続人	財産額	相続税
母	16,000万円	2,160万円
兄	2,000万円	270万円
弟	2,000万円	270万円

相続税の配偶者控除の注意点

①二次相続のことを考えて遺産分割をする。

→配偶者が多く財産を取得すると次の相続税↑

②相続税の配偶者控除を適用し相続税0円でも
相続税の申告は必要。

③遺産を隠したら（仮装・隠ぺい）配偶者控除が
適用できない可能性がある。

END